

農山漁村地域整備計画（ふくいの元気な森づくり整備計画） 事前評価結果

計画の概要	計画の名称	ふくいの元気な森づくり整備計画
	計画策定主体	福井県
	対象市町村	福井市、永平寺町、あわら市、坂井市、大野市、勝山市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町、敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、高浜町、おおい町（17市町）
	計画の期間	平成22～26年度（5年間）
	計画の目標	<p>現在、県内のスギを中心とした人工林については資源が充実しつつある一方、所有規模が小さく、境界が不明確などの要因により、間伐等の森林施策が進まず、また、間伐材の搬出率も約3割と低迷している状態にある。</p> <p>このため、施業地の集約化やきめ細かな道づくりを進め、利用間伐等の森林施策を計画的かつ効率的に実施することにより、県産間伐材生産量の増加を目指す。</p> <p>また、山地災害の被害性の高い地区において、治山施設や森林整備を重点的に実施し、災害に強い森づくりを推進することにより、山地災害防止機能の向上を図る。</p>
	定量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐材生産量 現状値(H20) 1.6千m<sup>3</sup>/年 から 目標値 2.5千m<sup>3</sup>/年まで増加させる。</li> <li>山地災害危険箇所を抱える78地区のうち、山地災害防止機能等の確保された地区を10地区から22地区に増加させる。</li> </ul>
	対象事業	森林整備事業、治山事業、漁場保全の森づくり事業
全体事業費	11,310,000千円	

項目	評価細目	評価	説明
目標の妥当性	1. 関連する計画との整合性が図られているか	○	間伐材生産量については、「ふくいの元気な森・元気な林業戦略」の数値目標を、定量指標としている。「森林整備保全事業計画」の成果指標である山地災害防止機能等が確保される地区数を定量指標としている。
	2. 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題を整理し、目指すべき方向性を示した、「ふくいの元気な森・元気な林業戦略」のコミュニティ林業プロジェクト、および環境林整備プロジェクトと整合している。
評価 整備計画の効果・効率性	1. 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	施業の集約化と路網の整備を進め、計画的に間伐等を実施することは、利用間伐を促進させ、間伐材生産量を増加する定量的指標と整合している。整備計画の目標である、山地災害の被害性の高い地区において山地災害防止機能の向上を図ることは、定量的指標と整合している。
	2. 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	個別事業の実績は、事業主体別または箇所別に管理しており、整備計画の計画期間で達成した量は的確に把握できる。
	3. 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	各事業の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1. 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	市町、地域住民との協力体制が整い、事業実施が可能な計画となっている。
	2. 地元の機運が醸成されているか	○	事業は、地元の要請に基づき実施されるため、機運は醸成されている。
評価結果	総合的に検討した結果、本計画は妥当と判断される。		